

しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシエット

H30年10月 NO.27

流行状況 (H30. 9/1~9/30 検査陽性者のみ) 対象：当院受診者

	市 内		市 外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	114	65	108	58
RS ウイルス	25		10	
マイコプラズマ LAMP	3	2	1	2
水痘				2
りんご病(伝染性紅斑)	2	3	1	
インフルエンザA				1

涼しい秋風に、高く澄んだ空。
大きく深呼吸したくなる、気持ちの良い季節ですね

子育て社会の支えが必要！



【マイコプラズマ感染症がポツポツと流行しています】

マイコプラズマ感染症は、咳が目立ち、通常鼻水はみられません。

感染しても3歳未満のお子さんは呼吸器症状が顕性化することは稀です。10代~20代、場合によっては30代のお父さんお母さんの方が症状が重くなることが多いので注意が必要です。

マイコプラズマ感染症は感染力が強く、家庭内累積率はほぼ100%と言われています。潜伏期間は1週間から1か月程度(多くは2~3週間)ですので、ご家庭内に感染者がおられる場合は2~3週間後に同じような症状(ひどい咳やゼイゼイなど)が他のご家族に見られる場合は早めにご相談ください。

【治療法】

マイコプラズマ感染症による気管支炎・肺炎にはマクロライド系と呼ばれる抗生剤がよく効きます。抗生剤は決められた分を全て飲み切ることが大切です。症状が良くなったからと言って途中で自己判断で内服を中止してしまうと治療が不十分なために周囲の人に感染してしまうことがあります。

【検査方法】

マイコプラズマ感染症の診断確定にはお喉の検査(LAMP法)が推奨されています。

LAMP法：お喉の検査です。最も診断精度が高い、確実な検査方法ですが、現状では検査結果判明までに数日を要します。

迅速検査：血液検査やお喉をグリグリするマイコプラズマの検査のうち、即日その場で結果が判明する迅速検査法の場合、およそ30%程度に擬陽性(感染していないのに誤って陽性と判断されてしまうこと)がみられます。現在、マイコプラズマの検査方法としてこれらの迅速検査法は推奨されていません。

【飛沫感染対策】

マイコプラズマは、溶連菌・RSウイルス・インフルエンザと同様に咳やくしゃみ、唾などの飛沫で感染します。マスクなどの飛沫感染対策を徹底していただくことで、保育園・幼稚園・小学校等での感染の拡大を防ぐことができます。マスクをする時は「お鼻もカバー」することが大切です。手洗いや手指アルコール消毒も重要です。

「今日は仕事を休めないの…」朝の保護者の方とのやりとりの中で、それぞれのご家庭のご事情が垣間見えることがあります。働く女性が増え、仕事と子育てを両立するうえで、病児保育の必要性は高まっていると感じます。

先日、久しぶりに病児保育に来られた小学生にお会いしました。「大きくなって丈夫になって、病気になることも少なくなりましたね」とお母さまに声をかけると「那珂市にしろやぎさんのポシエットがあったおかげで、仕事を辞めずに働き続けることができました！」とおっしゃって頂きました。お父さんお母さんに安心して子育てをしていただける一助となるように、私達、病児の保育「しろやぎさんのポシエット」があります。



日々の子育てでお困りのことやお悩みがありましたら、遠慮なくご相談ください。

しろやぎさんのポシエットのお部屋から

トンボも元気にお空を飛び回り、青空が気持ちの良い季節になりました。さて、今日しろやぎさんのポシエットのお部屋にやってきたのは・・・

“ビューン！”と、ま～るい羽根の飛行機です。その下をガタンゴトンと走っているのはカラフルなモノレール！



“ポップー！秋の美味しいもの列車が通りま～ず”
お芋に柿、りんごにぶどう、キノコに乗…秋の美味しい食べ物に乗せた汽車もやってきました！

